

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年10月8日(2009.10.8)

【公表番号】特表2006-512292(P2006-512292A)

【公表日】平成18年4月13日(2006.4.13)

【年通号数】公開・登録公報2006-015

【出願番号】特願2004-536597(P2004-536597)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/7088	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/08	(2006.01)
A 6 1 P	19/10	(2006.01)
C 1 2 Q	1/02	(2006.01)
C 1 2 Q	1/68	(2006.01)
G 0 1 N	33/50	(2006.01)
G 0 1 N	33/15	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 L	27/00	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	48/00	Z N A
A 6 1 K	31/7088	
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	19/00	
A 6 1 P	19/08	
A 6 1 P	19/10	
C 1 2 Q	1/02	
C 1 2 Q	1/68	A
G 0 1 N	33/50	Z
G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	33/53	D
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 L	27/00	G
C 1 2 N	15/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月23日(2009.7.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0061】**2) ハイブリダイゼーションベースの検定**

NELL-1の既知の配列（例えば、（配列番号：1及び配列番号：20）を参照）を用いて、NELL-1転写物を検出する、かつ（または）、数量化する工程は、核酸ハイブリダイゼーション技法（例えば、上記 Sambrook et al. を参照）を用いて日常的に実現することができる。例えば、NELL-1で逆転写されたcDNAの存在、不在、または数量を評価するための一つの方法は、「サザンプロット」を含んでいる。サザンプロットでは、一般に、電気泳動ゲル上で、断片化され、かつ、分離されたDNA（例えば、逆転写されたNELL-1 mRNA）を、NELL-1に対して特異的なプローブにハイブリダイズする。NELL-1プローブからのハイブリダイゼーション信号の強度と、「コントロール」プローブ（例えば、「ハウスキーピング遺伝子」に対するプローブ）との比較は、標的核酸の相対的な発現レベルの推定値を提供する。

【手続補正2】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0163****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0163】****免疫組織化学**

Ne11-1抗体の詳細な調製は、Kuroda et al.（参考文献13、14）によって文書化されている。この抗体は、Ne11-1のCOOH末端領域（CSVDELCIENN）（配列番号：21）を認識する。抗体の特異性は、Ne11-1を形質移入したNIH3T3細胞から抽出された蛋白質を用いて、ウェスタンプロットによって確認した。標準のアビジンビオチン複合体／免疫ペルオキシダーゼプロトコル（Vector Elite Kit；Vector Laboratories Inc., Burlingame, California, USA）を、1:100のNe11-1抗体希釈により用いた。ジアミノベンジジンペルオキシダーゼ基板および3-アミノ-9-エチルカルバゾールを描出に用い、かつ、切片を、ヘマトキシリソで対比染色した。

【手続補正3】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】配列表****【補正方法】追加****【補正の内容】****【配列表】**2006512292000001.app